

てっぺんを目指して



紫尾山山頂にて



出水高校だより

第二十六号 令和四年一月十一日

**野球部の皆さんが、
紫尾山頂を目指す登
山に挑戦しました。**

紫尾山への登山は、一昨年から始まった行事です(昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で中止)。登ったのは一月九日(日)。一九〇球にちなんだそうです。

当日は午前五時四十五分に学校を出発し、九時十分ごろ頂上に着いたとのこと。

参加したのは、



野球部員十八人。顧問の先生や保護者の方も同伴してくださいました。

初めて登った部員が多く、雄大な眺望に目を奪われていたそうです。頂上では一人ひとりが決意を述べ、今年の活躍を全員で誓い合いました。

今回の登山を機に、これからの大会でぜひ頂上を目指してくださいね。

雑感

「自由な時間をしっかり使おう。」本日の始業式の後、進路指導主任が生徒に呼びかけた一言だ。▼三学期に授業がある日は約四十日。一方、自宅学習期間や休業日など、授業がない日もほぼ四十日。自由に生活できる日が実に半分もあるのだ。

▼ただし、自由というのは大変なものだ。哲学者のジャン・ポール・サルトルは「人間は自由の刑に処せられている」と言った。どのような選択をし、どう行動するか、すべて自分で決定しなければならぬ。しかも、行動した結果の責任は自分自身に帰する。▼冒頭の進路指導主任の言葉は、そんな自由の厳しさを踏まえたものだろう。自由な時にこそ、真価が試される。

まずは自らを律しつつ、しっかりした学習計画を立てることが肝要だ。

(宮原)